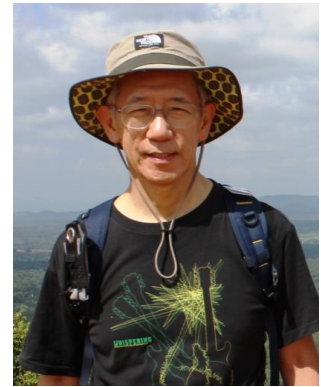


・バードカービングとは

バードカービングはアメリカで発展した野鳥彫刻です。

もともとは、鴨のデコイ（囀：オトリ）が起源と言われています。デコイは鴨猟の道具で「水辺にデコイを浮かべ上空を通過する鴨に下に仲間がいるから餌があると勘違いさせ」降下してくるところを撃ち落とすために使われます。

デコイは道具でしたが、デコイからリアルで装飾的な芸術作品へと変わっていく過程でバードカービング（野鳥彫刻）と呼ばれる様になったと考えられています。



・私とバードカービング

1980年頃にサラリーマンの傍ら、人形作家の家内が使っていた石粉粘土でバードカービングを作っていました。

1992年に奈良県のデパートで見た「アメリカで生まれた鳥の芸術 バードカービング展」で木彫りのバードカービング制作に興味を持ちました。

1997年に現日本バードカービング協会会長の内山春雄氏の指導を受け制作の基本を学びました。

1998年から日本でコンクールが始まり、入賞を目指して本格的に取り組み始めました。

2000年にアメリカの世界大会に初めて参加し世界トップクラスの作品に圧倒され、奥の深さを感じました。

2001～2012年 全日本バードカービングコンクールで12年間に8回の日本バードカービング大賞を受賞しました。

2001～2011年 全日本バードカービングコンクールで11年間 審査員を経験しました。

2004年 2000年から毎年世界大会に挑戦し、2004年にマスターカーバーになる事が出来ました。

2004年～ 以後はワールドクラスに7回挑戦しましたが、People's Choice Award 2位を受賞するも7戦全敗で現在に至ります。

・バードカービングについて思う事

- ・恐竜の子孫と言われる鳥類は何億年もの間に変異と淘汰を繰り返し、種の分化と共に機能的な形と色彩に至ったと思うと、鳥類は自然が作った合理的で洗練された芸術品であり、そこに美を感じます。
- ・バードカービングで鳥類を正確に作る事は自然が作った芸術の再現であり美の追求でもあります。
- ・実際には、どんなに頑張っても程々の正確性にしかならない事を毎回痛感していますが、作者の個性や思いが作品ににじみ出るのも魅力です。
- ・鳥類の今に至った形態に敬意を表し、形態(形状や構造、大きさ、色彩)と生態(生きざま)は常に表裏一体である事を思いつつ、その美をバードカービングでとことん表現したいと思っています。